

広報・教育部門

応募事例名

みんなでつくる未来の下水道 ～大阪から世界へ、下水道のナレッジを発信～

応募団体名) 大阪市建設局

応募事例の概要

- ・大阪・関西万博を契機に、下水道の現在と未来を世界へ発信！
- ・下水道の役割や下水道の未来像を伝えるブースを出展(日英対応)！
- ・万博レガシーとして展示物を常設！
- ・大阪のナレッジを集約した既設展示物をQRで多言語化(130か国語)！

応募事例の内容

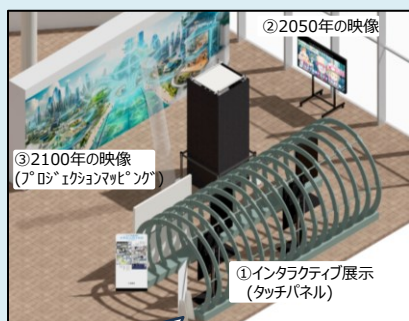
短期的な発信@大阪・関西万博

万博のテーマ：「いのち輝く未来社会のデザイン」

展示物の展示(未来の下水道ブース)

展示物全体図(日英対応)

(下水道の役割などを直感的に伝える展示物)



日英対応！
体験・映像から直感的に伝える！

インタラクティブ展示
(日英対応)



下水道が機能していないパラレルワールドにタイムスリップ！？
クイズ体験を通して世界を救おう！

長期的な発信@大阪市下水道科学館

科学館の3つの機能：「海外展開、技術開発、学習・研修」

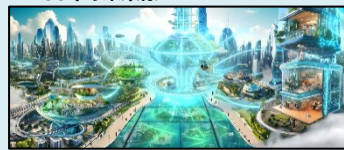
万博レガシー

常設展示の様子



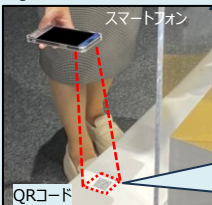
万博の記憶を後世に継承！
海外来場者にも発信！

2100年の未来像



QRコードの活用

QRコードの掲示

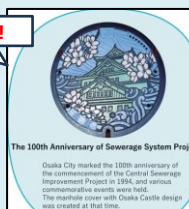


低コスト！

約130か国語に対応！



大阪市HP(英語)



PRポイント

- ・大阪・関西万博の出展にあたり、タッチパネルやプロジェクションマッピングなどの活用に加え、オリジナルキャラクターによるストーリー展開のある日英対応(音声含む)の展示物を制作し、海外来場者にも直感的に下水道の役割などが伝わるよう工夫しました！
- ・大阪市下水道科学館に万博レガシーとして展示物を常設し、後世に継承することに加え、日本語中心の既設展示物を解説する多言語対応ウェブサイトへ誘導するQRコードの掲示により低コスト多言語化(約130か国語)を導入しました！

取組に関するエピソード

苦労した点は、令和7年7月24日～8月7日の11営業日の間に、万博出展(2日間)・下水道展'25大阪出展(4日間)・下水道科学館への常設という目まぐるしい設営・撤去・運営に苦労しました。そのような中でも、関係者との緻密な調整・協力により、会場特性に合わせたレイアウト及び放映時間の調整並びに人感センサーの採用など細やかな工夫を凝らし、効果的な情報発信となるよう努めました。

日本で20年ぶりに開催された国際博覧会である大阪・関西万博において、下水道のPR業務に携わることに大きなやりがいを感じました。今後は、万博レガシーとして後世に継承した展示物を下水道事業の情報発信に活用したいと思います。



建設局下水道部
下水道資源循環課
神山 貴大